

これまでの検討状況について

近畿地方整備局

1. 名神湾岸連絡線の概要

1

- 名神湾岸連絡線は、名神高速道路と阪神高速5号湾岸線をつなぐ道路
- 平成10年6月に地域高規格道路（計画路線）に指定
- 平成25年8月から計画段階評価実施

起終点名：西宮市～西宮市
延長：約3km
地域高規格道路指定状況

- ・平成10年6月
計画路線指定
- ・平成10年12月
調査区間指定



○計画段階評価

- ・平成25年 8月 第1回近畿地方小委員会開催（地域・道路交通の状況と課題）
- ・平成26年 7月 第1回地域への意見聴取
- ・平成27年 7月 第2回近畿地方小委員会開催（政策目標の設定、対応方針（案）の検討）
- ・平成27年10～11月 第2回地域への意見聴取
- ・平成29年 1月 第3回近畿地方小委員会開催（対応方針（案）のまとめ）

2. 政策目標

2

◇ アンケート調査結果や地域・道路の課題、地域の将来像を踏まえ、当該地域の政策目標を設定

地域課題と道路の問題

地域の将来像

住民等のニーズ、課題認識

渋滞

防災

沿道環境

事故

国際競争力

1. 渋滞の緩和
2. 災害時等に強い道路ネットワークの確保
3. 沿道環境の改善
4. 交通安全の確保
5. 物流の活性化

◇ 対策案の検討

【渋滞】

慢性的な渋滞を緩和する道路とは

【防災】

災害時等に機能する道路とは

【沿道環境】

沿道環境を改善する道路とは

【事故】

交通安全に寄与する道路とは

【国際競争力】

物流活性化を図る道路とは

■ 当該地域に求められるサービスとは

- ① 既存路線(湾岸線)に交通を分散し、神戸線・国道43号の渋滞を緩和
- ② 事故、災害、緊急時の代替路や強靱な道路を確保
- ③ 国道43号の沿道環境の改善
- ④ 生活道路への大型車の流入を抑制し、安全安心な生活空間を確保
- ⑤ 阪神港の国際競争力の向上や物流機能の強化

3. 対応方針(案)

- ▶ 名神高速道路と阪神高速5号湾岸線を連絡することにより、渋滞緩和、災害時等に強い道路ネットワークの確保、沿道環境の改善、交通安全の確保、物流活性化の政策目標を満足し、特に、災害時等に強い道路ネットワークの確保、地域分断・地下水への影響で優位な『高架案』を選定

